

2024年7月22日

NTTアドバンステクノロジー株式会社

自然災害時の「逃げ遅れゼロ」をめざす 自治体向け住民避難支援サービス「ニゲドキ」のトライアル提供開始 ～マイ・タイムラインや場所に応じた“あなたの”避難タイミングを通知～

NTTアドバンステクノロジー株式会社(以下:NTT-AT、本社:東京都新宿区、代表取締役社長:伊東 匡)は、2024年7月22日から、全国の自治体を対象に、住民避難支援サービス「ニゲドキ」(以下:本サービス)のトライアル提供を開始します。

本サービスは、国土交通省が作成を推奨している住民一人ひとりの防災行動計画「マイ・タイムライン」の登録情報や、「自宅」「職場」「実家」などのあらかじめ指定した場所の情報をもとに、その住民に応じた避難のタイミング「ニゲドキ」をお知らせし、避難行動を促進します。お知らせは、スマートフォンのほか戸別受信機でも受け取ることができます^(注)ので、スマートフォン・タブレットの操作が不得意な高齢者やインターネットへ接続する機器を持っていない方もご利用になれます。

マイ・タイムラインの作成は、親しみやすく直感的に操作できるUIに加え、一部操作の自動化により、特別な知識がなくても簡単に完了できます。作成したマイ・タイムラインは印刷にも対応しており、スマートフォンが使えない状況でのバックアップとして利用できるほか、スマートフォンをお持ちでない方や使いこなせない方には、支援者が代理で作成・印刷してわたすことも可能です。

NTT-ATは本サービスの提供により、住民のみなさまの適切なニゲドキでの避難行動開始を促し、「逃げ遅れゼロ」の実現に貢献します。また、自治体職員の避難促進活動の負担軽減により、他の災害関連業務への対応を可能とすることで、さらなる人的被害の発生を防止し、安心・安全な地域社会に貢献します。

注:NTT-ATの双方向・マルチデバイス対応の情報配信サービス「@InfoCanal[®]」(アットインフォカナル)の利用・連携が必要です。

■提供開始の背景

近年、自然災害の激甚化が進んでおり、過去10年間では約98%の市町村で水害・土砂災害が発生しています^{*1}。全国の自治体は、災害情報の伝達手段を整備し、住民に対して危険の接近や避難を呼びかける情報を配信しています。

災害情報を一斉配信する仕組みの整備が進む一方で、多くの自治体の共通課題として「避難情報を発信しても、住民が避難してくれない」「危険度が伝わらない」といった声が上がっています。逃げ遅れて被害に遭われたり、逃げ遅れがないかの確認のために職員などが危険な場所に赴いたりする事態も発生しています。

危険が迫っていても避難行動を起こさない原因として、主に3点が挙げられます。

1. 避難情報を「自分事」として捉えてもらえない

「自分はきっと大丈夫」「ここはきっと大丈夫」「いままでも大丈夫だったから大丈夫」
一斉配信された内容のみでは、どこか「他人事」に感じてしまい、行動につながらない。

2. いざという時の行動がわからない

「どこにどうやって逃げればいいのか?」「避難時の持ち物は?」

危険が迫ってきてから急に考えても、何をしたらいいかわからない。日ごろの備えもしていない。

3. 最新の正確な情報が把握できていない

「こっつてどれくらい危険なの?」「今後の雨量の見通しは?」

避難の判断には情報が必要。あちこち見ているうちに時間ばかりが過ぎてしまう。

■提供開始のねらい(目的)

本サービスは、個人の状況に即したパーソナライズ情報を提供することにより、逃げ遅れゼロをめざす避難行動支援サービスです。

住民の避難行動を促進することで逃げ遅れる方を減らし、人的被害を減らすことをめざします。また、住民が自ら避難することで、避難促進にかかる自治体職員の負担が軽減されることから、他の災害関連業務への対応が可能となり、結果として、災害に強い安心・安全な地域社会に貢献します。

■サービスの特長

本サービスの特長は以下のとおりです。

1. 作成したマイ・タイムラインをもとに、「あなたのニゲドキ(避難タイミング)」を通知

災害の危険度が高まった際に、あなたの逃げ時、避難タイミングを通知します。

自宅だけでなく、勤務先や実家、支援する人がいる場所など、複数の箇所について、危険度に応じたタイミングの設定が可能です。

NTT-ATの双方向・マルチデバイス対応の情報配信サービス「@InfoCanal[®]」(アットインフォカナル)と連携することにより、戸別受信機に配信することもできるため、スマートフォンをお持ちでない方や使いこなせない方にも情報提供できます。

2. 特別な知識がなくても、簡単な操作でマイ・タイムライン作成が可能

特別な知識がなくても、アプリ上でナビゲーションに従って項目を選択していくことで簡単にマイ・タイムラインが作成できます。

マイ・タイムラインの作成を通じて防災意識を高め、いざという時の行動につなげます。

作成したマイ・タイムラインは印刷機能にも対応しています。通信断やバッテリー切れの際のバックアップとして活用できるほか、スマートフォンをお持ちでない方や使いこなせない方には支援者が代理で作成・印刷してわたすことも可能です。

3. 危険度・気象情報・避難所状況のリアルタイム提示により、避難行動判断を支援

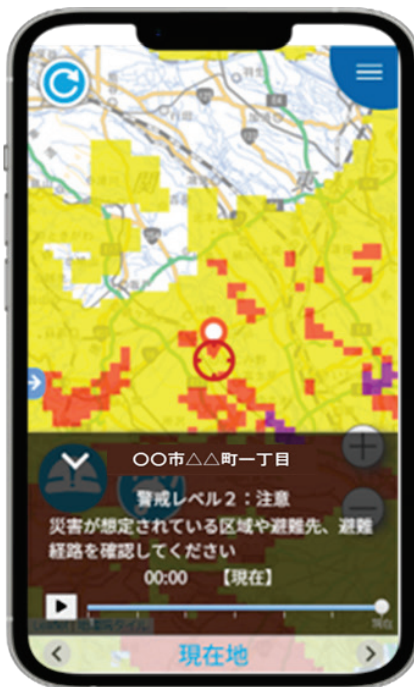
土砂・浸水害の危険度分布・降雨情報・避難所の場所と開設状況・混雑状況を地図上に重ねあわせて表示することで、いまこの場にいるあなたの災害リスクをリアルタイムに伝え、避難の判断を支援します。

危険度は1km四方で表示されるため、広域なエリア単位での情報では感じにくい危険も感じることができます。

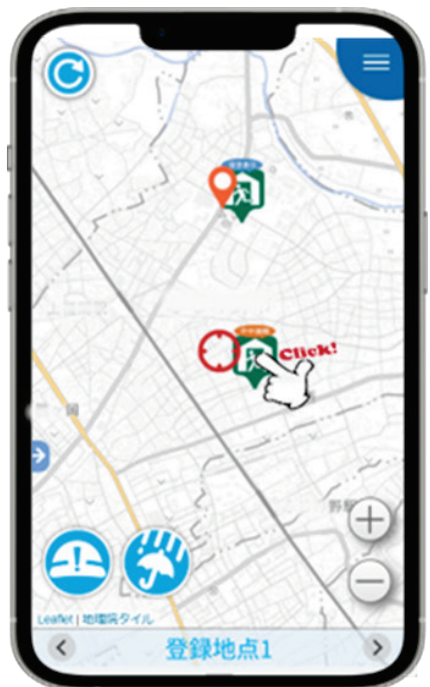
【本サービスが“あなたに”お知らせする避難行動支援情報】



◆あなたの避難タイミングを通知
災害の危険度が高まり、設定した条件になると、PUSH通知でお知らせします。
自治体からの一斉配信に加え、あなたの「ニゲドキ」をお知らせすることで迫りくる危機を自分事に感じていただき、行動を促します。



◆現在地の情報のリアルタイム表示
GPSによる現在地周辺の降雨情報や危険度情報をリアルタイムに表示します。



◆避難所情報表示
避難所の場所や開設状況を地図上に表示します。
クリックすると混雑状況、福祉避難所対応の有無などの詳細が確認できます。



◆ナビゲーションによる作成支援
災害対応に関する知識がなくても、表示されるナビゲーションに従って必要な内容を選択・記入していただくだけで、簡単にマイ・タイムラインが作成できます。

避難に必要な持ち物を選びましょう

避難するときに必要な持ち物が何か、事前に確認しておきましょう。ボタンを押して、持ち物のチェックリストしましょう。選択された持ち物タイムライン内のチェックされます。

避難に必要な持ち物を選びましょう

避難するときに必要な持ち物を選択しましょう。選択された持ち物は自動的にタイムライン内の持ち物チェックリストに追加されます。また、後からいつでも、確認・修正が行えます。

備蓄品または非常持ち出し品	財布や保険証などの貴重品	いつも服用している薬
避難に利用する車やバイク	持ち物	本やゲームなどの暇つぶしグッズ
幼児用品	女性用品	→ 次のページ

一通り選べたら・・・

つぎへ >

< もどる

◆参照はスマートフォンでも紙でも
作成したマイ・タイムラインはスマートフォンで参照できるほか、印刷することも可能です。

〇〇市 デジタル・マイ・タイムライン

私の行動

警戒レベル1
最新の防災・気象情報を収集して、災害への心構えをしましょう。
警戒レベル1におけるあなたの行動は以下の通りです。確認できた項目はチェックを付けてください。

〇〇市の公式X確認する	テレビやインターネットで情報を収集する
家族に連絡し予定を確認する	備蓄品を確認する

警戒レベル2
市区町村の提供するハザードマップ等を確認し、災害が想定されている区域や避難先・避難経路を確認しましょう。
警戒レベル2におけるあなたの行動は以下の通りです。確認できた項目はチェックを付けてください。

災害発生時の連絡先や連絡方法を確認する	家族の避難計画・避難経路を確認する
外にある飛ばされそうなモノをしまう	体温を測り体調を確認する
避難時に持ち出すものを準備する	スマホやバッテリーを充電しておく
避難しやすい服装や靴に着替える	

警戒レベル3
高齢者・乳幼児・障がい者など、避難に時間の要する方の避難タイミングです。また、それ以外の方も普段の行動を見合わせ始めたり、最新の情報を収集して避難の準備をしたり、自ら避難の判断をしましょう。
警戒レベル3におけるあなたの行動は以下の通りです。確認できた項目はチェックを付けてください。

高齢者等と一緒に避難する	大切な家族を安全な場所に移動する
ガスの元栓を閉める・ブレーカーを落とす・戸締りをする	近所の人に避難を呼びかける

警戒レベル4
高齢者・乳幼児・障がい者など、避難に時間の要する方の避難タイミングです。また、それ以外の方も普段の行動を見合わせ始めたり、最新の情報を収集して避難の準備をしたり、自ら避難の判断をしましょう。

私の持ち物

幼児用品	☐
高齢者用品	☐
女性用品	☐
貴重品	☐

私の避難場所

自宅

避難場所名	住所	内水氾濫	土砂災害
×××小学校	〇	〇	〇
△△公園	×	×	×
●●公民館	〇	×	×

職場

避難場所名	住所	内水氾濫	土砂災害
×××学校	〇	〇	〇
△△公園	×	×	×
●●公民館	〇	×	×

両親の家

避難場所名	住所	内水氾濫	土砂災害
×××学校	〇	〇	〇
△△公園	×	×	×
●●公民館	〇	×	×

■トライアル提供について

1. 提供開始

2024年7月22日

2. 提供価格

無料

3. 実施概要

自治体の職員様を対象に、お手持ちのスマートフォンで各機能をお試しいただけます。また、マイ・タイムラインの作成について、必要に応じて集合形式の講習会を開催し、弊社担当者による説明のうえ、その場で体験いただく機会をご提供いたします。トライアル終了時に、機能の有効性や操作性に関するヒアリングにご協力をお願いいたします。

4. お申込み

トライアル提供をご希望の方は、以下URLの問い合わせフォームよりお問い合わせください。

<https://www.ntt-at.co.jp/product/nigedoki/>

■今後の予定

トライアルでいただいたご意見をもとに各機能・UIなどをブラッシュアップし、2024年度内にサービス提供を開始いたします。

【参考】「ニゲドキ」ロゴマーク



ニゲドキ[®]

シンボルマークは、降雨・浸水害・土砂災害といった自然災害をベースとし、全体を円で囲うことで、状況を冷静に俯瞰する気持ちや、守られている安心感を表現しています。ロゴタイプは、徐々に上がってくる水位と危険を表現しています。全体的に、黒を用いて緊急度や緊迫感を表すとともに、水色を配置することで心を落ち着かせるようなデザインとしました。迫りくる危険を自分事として感じていただき、あなたにあった情報を提供することで、「逃げ遅れゼロ」をめざす私たちの想いが込められています。

*1 出典「河川事業概要2023」

https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/kasen/gaiyou/panf/pdf/2023/kasengaiyou2023_all.pdf

※本文中に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
※掲載のデータは発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。
※国土交通省「マイ・タイムライン」
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/syozaiti/mytimeline/index.html>

本件に関するお問い合わせ先

■NTT アドバンステクノロジー株式会社

【商品に関するお問い合わせ先】

アプリケーション・ビジネス本部

DXビジネス部門

ニゲドキ担当

<https://www.ntt-at.co.jp/product/nigedoki/>

【報道関係のお問い合わせ先】

経営戦略室

経営企画部門 広報担当

担当:加藤・根本

